



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

上場会社名 株式会社EduLab 上場取引所 東
コード番号 4427 URL <https://www.edulab-inc.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 廣 實 学
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 川瀬 晴夫 TEL 03 (6897) 3733
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	4,151	△6.7	93	△49.7	152	0.0	△128	—
2025年9月期第3四半期	4,450	△18.6	187	—	152	—	101	—

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 △4百万円(—%) 2025年9月期第3四半期 79百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	△12.60	—
2025年9月期第3四半期	9.97	—

(注) 2025年9月期第3四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。2026年9月期第3四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	3,286	1,834	39.0
2025年9月期	3,607	1,830	37.6

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 1,282百万円 2025年9月期 1,354百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—		
2026年9月期(予想)				—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	5,800	△6.9	80	△79.6	20	△95.6	10	△39.8	0.98

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社、除外 一社

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期3Q	10,228,470株	2025年9月期	10,228,470株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	8,504株	2025年9月期	8,504株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期3Q	10,219,966株	2025年9月期3Q	10,219,966株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、持続的な成長を目指した体制構築に向け、「事業構造改革」、「コスト構造改革」、「組織体制・企業風土構造改革」の3つの構造改革を軸とした、2024年9月期から2026年9月期までの3年間を期間とする「中期経営計画―事業計画及び成長可能性に関する事項」（以下、「中計」といいます。）を、2023年12月8日に公表しました。

「中計」初年度の2024年9月期は、「コスト構造改革」、「組織体制・企業風土構造改革」の面で成果を出し、「中計」第2年度2025年9月期において「事業構造改革」を中心とした取り組みを役職員一丸となって推進した結果により、4期ぶりに営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の全利益区分の黒字化を達成しました。

「中計」最終年度2026年9月期におきましても3つの構造改革の取り組みを継続して、全利益区分の黒字維持を目指す計画です。

今後も株主様、お取引先様はじめすべてのステークホルダーのご期待に沿うべく、更なる企業価値向上に向けて、取り組みを行っていく所存です。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、通期業績予想の達成に向け、計画通りおおむね堅調に推移しました。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの事業トピックスとしましては、自社サービスの新機能追加を行いました。

具体的には、2025年4月から有償サービスを行っておりますAIを活用した英語学習サービスの「UGUIS.AI」において、2025年12月には、AIチャット「UGUIS先生」に新たに“学習診断機能”を追加しました。蓄積された学習者の学習データをもとに、よく間違えるポイントや改善の傾向を自動的に整理・可視化することで、学習者の自立学習の促進と、指導者による指導・伴走の双方に役立てられるようになりました。これにより、指導者がAIと役割を分担しながら、学習者が主体的に学ぶことが可能となりました。

また、2026年1月には、英検®級の目安を最短 10 分で測定することが可能なオンライン測定サービス「英検®級かんたん測定 powered by CASEC」の提供を開始しました。

更に、新たに英検®スピーキング対策機能を開発し、2025年10月に公開したベータ版の正式版をリリースしました（正式版リリース公表日：2026年7月2日）。これにより英語ライティング学習サービスであった「UGUIS.AI」は、スピーキング学習にも対応可能となり、英語のアウトプット学習がさらに強化されました。

以上の自社サービスの新機能追加により今後の自社サービスの拡販に繋げていきたいと考えております。

海外関係会社の合理化面では、2025年10月1日を効力発生日として、当社連結子会社であるEdutech Lab, Inc. が、同社の子会社（当社の孫会社）である DoubleYard, Inc. を吸収合併すること、および吸収合併存続会社であるEdutech Lab, Inc. に対する貸付金等の債権の概ね全額の株式化（デット・エクイティ・スワップ）を実施しました。これによりグループ経営が効率化し、かつ当該連結子会社に対する外貨建貸付金等から発生していた為替評価損益を大幅に低減できることとなりました。

また、2026年2月には、2024年8月から清算手続き中でありました連結子会社である Edutech Lab AP Private Limited（所在地：シンガポール）の清算手続きが終了しました。これにより、中国・香港・シンガポールでの海外関係会社の整理が完結しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、売上高4,151,628千円（前年同期比6.7%減）、営業利益93,971千円（前年同期比49.7%減）、経常利益152,768千円（前年同期比0.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純損失128,775千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益101,972千円）となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、収益面では、主にテストセンター事業における増収の影響がある一方、テスト運営・受託事業で前期には含まれていた一部案件について、当期には剥落したことの減収要因が上回りました。費用面では、売上原価・販売管理費が前年同期比で減少となりましたが、収益面の減少をカバーできず、その結果、営業利益は前年同期比で49.7%の減少となりました。

営業外収益では、弁護士費用に係る保険金107,366千円を受領、投資有価証券売却益11,044千円等の増益の影響が主な要因として、営業外収益は133,170千円（前期比78,400千円増）となりました。

営業外費用は、投資事業組合費の費用削減などから74,374千円（前年同期比14,816千円減）となりました。

以上、営業利益の減少、および営業外収益、営業外費用の結果、経常利益は前年同期比で同水準となりました。

特別損失は、米国連結子会社の特別退職金などにより58,596千円となりました。

また法人税等160,789千円、および非支配株主持分利益(費用)62,158千円を計上しました。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純損失128,775千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益101,972千円）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、事業セグメントごとの業績をより適正に評価管理するために、部門間の共通

費の集計・配賦方法を変更しており、報告セグメントの利益の算定方法を変更しております。前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の算定方法に基づき作成して比較分析をしております。

① テスト等ライセンス事業

テスト等ライセンス事業においては、事業構造改革の一環で、一部サービスが、2025年9月期下半期以降終了したため、当該セグメントの売上高は509,788千円（前年同期比5.5%減）となりましたが、コストの合理化により、セグメント利益では128,072千円（前年同期比5.4%増）となりました。

② AI事業

AI事業においては、当該セグメントの売上高は141,861千円（前年同期比21.3%減）、セグメント損失は17,283千円（前年同期はセグメント利益33,146千円）となりました。

前年同期比で減収減益となった主な要因は、テスト運営・受託事業の公共案件の減収に伴い、そこで採点の合理化に寄与する予定であったDEEPREADの売上が減少したことによります。

③ テスト運営・受託事業

テスト運営・受託事業においては、売上高は、一部公共案件の減少、および前連結会計年度の単年度受注した一部案件の剥落により大きく減収となったことから、当該セグメントの売上高は641,615千円（前年同期比44.7%減）、セグメント利益は84,741千円（前年同期比72.6%減）となりました。

④ テストセンター事業

テストセンター事業においては、テストセンター利用者数が大幅に伸長し、当該セグメントの売上高は2,610,230千円（前年同期比16.5%増）となりました。また、運営体制、業務の最適化によりセグメント利益は268,014千円（前年同期比95.6%増）となりました。

⑤ その他事業

当社グループは、2024年3月に教育プラットフォーム事業から撤退しましたが、サービスを継続した広告事業を「その他事業」に分類しています。当該セグメントの売上高は248,132千円（前年同期比24.7%減）、セグメント利益73,840千円（前年同期比22.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて485,528千円減少し、2,332,592千円となりました。主な要因は、現金及び預金122,567千円増加の要因がありましたが、売掛金及び契約資産464,246千円減少、未収法人税等101,557千円減少、その他流動資産38,528千円減少などの減少要因によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて164,248千円増加し、953,955千円となりました。これは、本社移転による建物附属設備等の有形固定資産24,443千円の増加、テスト等ライセンス事業のソフトウェア開発によりソフトウェア110,855千円増加、ソフトウェア仮勘定10,970千円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて321,279千円減少し、3,286,548千円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて388,636千円減少し、1,256,639千円となりました。主な要因は、買掛金43,269千円減少、長期借入金への借り換えによる短期借入金200,000千円減少、1年内返済長期借入金54,343千円増加、未払法人税等11,593千円増加、契約負債11,683千円増加、賞与引当金14,585千円減少、その他流動負債188,802千円減少などによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて63,259千円増加し、195,171千円となりました。主な要因は、長期借入金63,472千円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて325,376千円減少し、1,451,810千円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4,096千円増加し、1,834,737千円となりました。主な要因は、四半期純損失により利益剰余金が128,775千円減少した一方、為替換算調整勘定56,926千円増加、非支配株主持分75,945千円増加によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の通期連結業績予想につきましては、2025年11月13日に公表しました予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 9 月 30 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (2026年 6 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,386,914	1,509,482
売掛金及び契約資産	999,431	535,184
仕掛品	21,182	17,418
未収法人税等	105,504	3,946
その他	305,087	266,559
流動資産合計	2,818,120	2,332,592
固定資産		
有形固定資産	107,192	131,635
無形固定資産		
ソフトウェア	182,007	292,863
ソフトウェア仮勘定	49,805	60,775
その他	0	0
無形固定資産合計	231,813	353,638
投資その他の資産	450,700	468,681
固定資産合計	789,706	953,955
資産合計	3,607,827	3,286,548
負債の部		
流動負債		
買掛金	206,663	163,394
短期借入金	300,000	100,000
1 年内返済予定の長期借入金	86,812	141,155
契約負債	164,215	175,898
未払法人税等	42,018	53,611
賞与引当金	45,933	31,348
訴訟関連費用引当金	273,288	253,689
事業構造改革引当金	22,000	22,000
その他	504,344	315,541
流動負債合計	1,645,275	1,256,639
固定負債		
長期借入金	128,900	192,372
その他	3,011	2,798
固定負債合計	131,911	195,171
負債合計	1,777,187	1,451,810

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 9 月 30 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (2026年 6 月 30 日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	1,589,861	1,589,861
利益剰余金	△100,280	△229,056
自己株式	△19,953	△19,953
株主資本合計	1,559,627	1,430,851
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△204,837	△147,910
その他の包括利益累計額合計	△204,837	△147,910
非支配株主持分	475,850	551,796
純資産合計	1,830,640	1,834,737
負債純資産合計	3,607,827	3,286,548

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,450,459	4,151,628
売上原価	3,032,037	2,848,381
売上総利益	1,418,421	1,303,246
販売費及び一般管理費	1,231,375	1,209,274
営業利益	187,046	93,971
営業外収益		
受取利息	2,821	3,408
受取配当金	1,089	523
有価証券売却益	—	11,044
為替差益	16,128	—
保険金収入	30,248	107,366
その他	4,482	10,827
営業外収益合計	54,770	133,170
営業外費用		
支払利息	7,037	7,354
有価証券評価損	—	7,842
投資事業組合管理費	52,135	32,134
為替差損	—	26,202
貸倒損失	23,426	—
その他	6,591	839
営業外費用合計	89,190	74,374
経常利益	152,625	152,768
特別利益		
投資有価証券売却益	13,582	—
特別利益合計	13,582	—
特別損失		
特別退職金	—	53,839
その他	—	4,757
特別損失合計	—	58,596
税金等調整前四半期純利益	166,207	94,171
法人税等	61,152	160,789
四半期純利益又は四半期純損失(△)	105,055	△66,617
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,082	62,158
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	101,972	△128,775

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2024年10月 1 日 至 2025年 6 月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2025年10月 1 日 至 2026年 6 月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	105,055	△66,617
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△25,973	61,891
その他の包括利益合計	△25,973	61,891
四半期包括利益	79,081	△4,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,089	△71,848
非支配株主に係る四半期包括利益	3,991	67,122

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	テスト等 ライセンス 事業	AI事業	テスト運営 ・受託事業	テスト センター 事業	その他事業	計		
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	539,593	180,356	1,160,212	2,240,461	329,834	4,450,459	—	4,450,459
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	539,593	180,356	1,160,212	2,240,461	329,834	4,450,459	—	4,450,459
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	539,593	180,356	1,160,212	2,240,461	329,834	4,450,459	—	4,450,459
セグメント利益又は 損失 (△)	121,488	33,146	310,003	137,003	95,565	697,206	△510,160	187,046

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	テスト等 ライセンス 事業	AI事業	テスト運営 ・受託事業	テスト センター 事業	その他事業	計		
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	509,788	141,861	641,615	2,610,230	248,132	4,151,628	—	4,151,628
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	509,788	141,861	641,615	2,610,230	248,132	4,151,628	—	4,151,628
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	509,788	141,861	641,615	2,610,230	248,132	4,151,628	—	4,151,628
セグメント利益又は 損失（△）	128,072	△17,283	84,741	268,014	73,840	537,385	△443,413	93,971

（注） 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（報告セグメント区分の変更）

第1四半期連結会計期間より、事業セグメントごとの業績をより適正に評価管理するために、部門間の共通費の集計・配賦方法を変更しており、報告セグメントの利益の算定方法を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の算定方法に基づき作成しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	18,094千円	44,932千円
のれんの償却額	—	—

（重要な後発事象）

該当事項はありません。